

こすげ あみださんぞんぞう
小菅の阿弥陀三尊像



△阿弥陀如来（中央）と勢至菩薩（向かって左）・観音菩薩（向かって右）

かつての小菅山元隆寺講堂内に安置されている。

両脇の勢至菩薩（すべてを照らす地慧の光を持つ菩薩）と観音菩薩（苦しみの中にあえぐ私たちを救うため無量の慈悲をもつ菩薩）を合わせて阿弥陀三尊像となっているが、脇侍は本尊に併せて地方で製作されたものと推定されている。